

## ドローン調査(9月14日)による硫黄山(霧島山)の活動状況 速報

硫黄山において連続微動活動の増大が観測されたことを受け、機動的な調査観測・解析グループは、2025年9月13～14日にドローンを用いた硫黄山南火口周辺の調査を実施し、活動状況の把握を試みた。9月14日に撮像した画像から作成したオルソモザイク処理結果を図1に示す。本調査においては、Y2a火孔およびH火孔で活発な噴気活動が確認された(図2)。一方、これまで観測されていたY2a火孔の湯だまりは、本調査時においては確認されなかった(図3)。Y2a火孔の東隣に位置する硫黄山東火口の池は満水に近い状態であったことから地下水位の低下ではなく、地下から供給される熱量の増加により湯だまりがドライアップした可能性が考えられる。

### 【使用機材】

ドローン：DJI Matrice350RTK

カメラ：DJI ZenmuseH30T

ズームカメラ：3664×2748画素(静止画)

広角カメラ：4032×3024画素(静止画)

赤外カメラ：1280×1024画素(静止画)

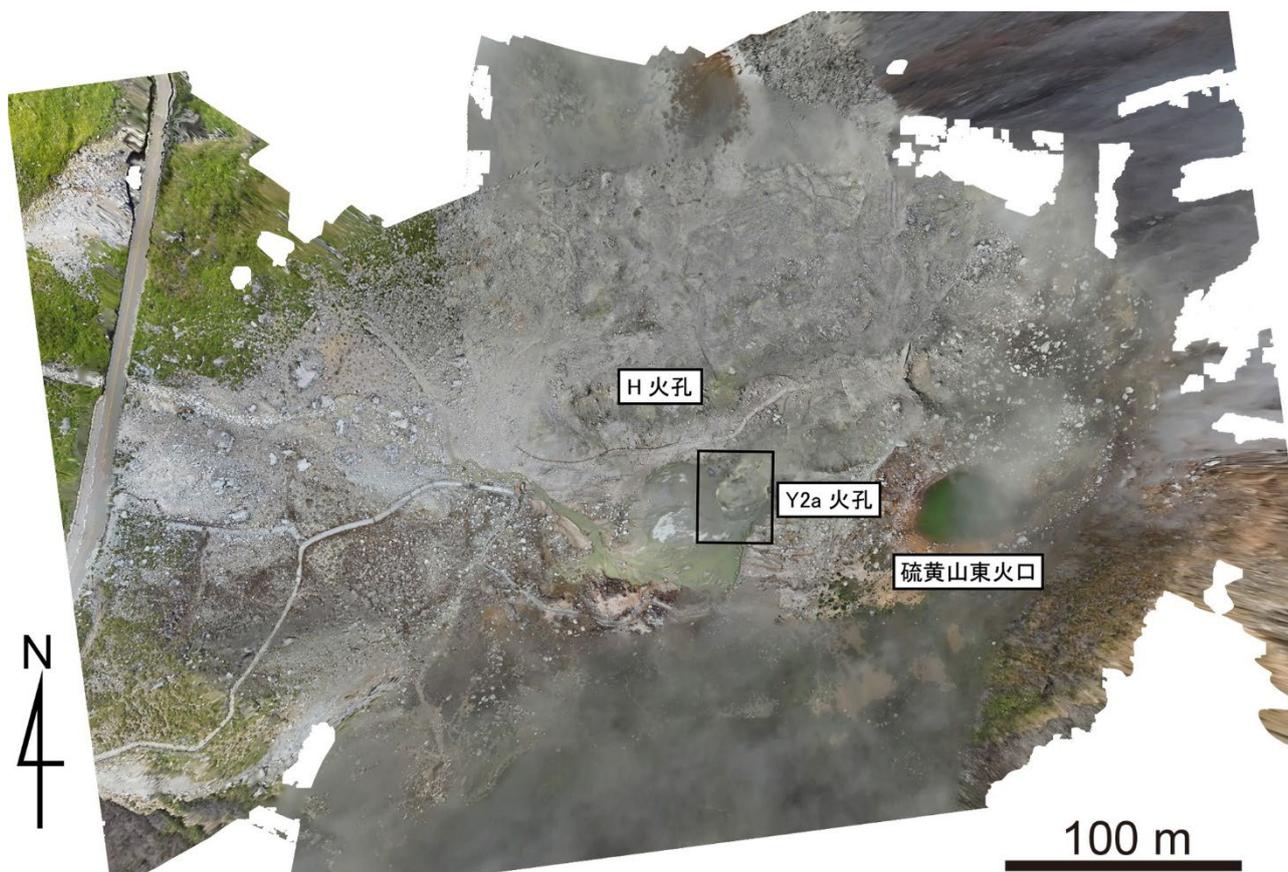


図1. 2025年9月14日に撮像した画像から作成したオルソモザイク画像。黒線は図3に示す画像の範囲を示す。

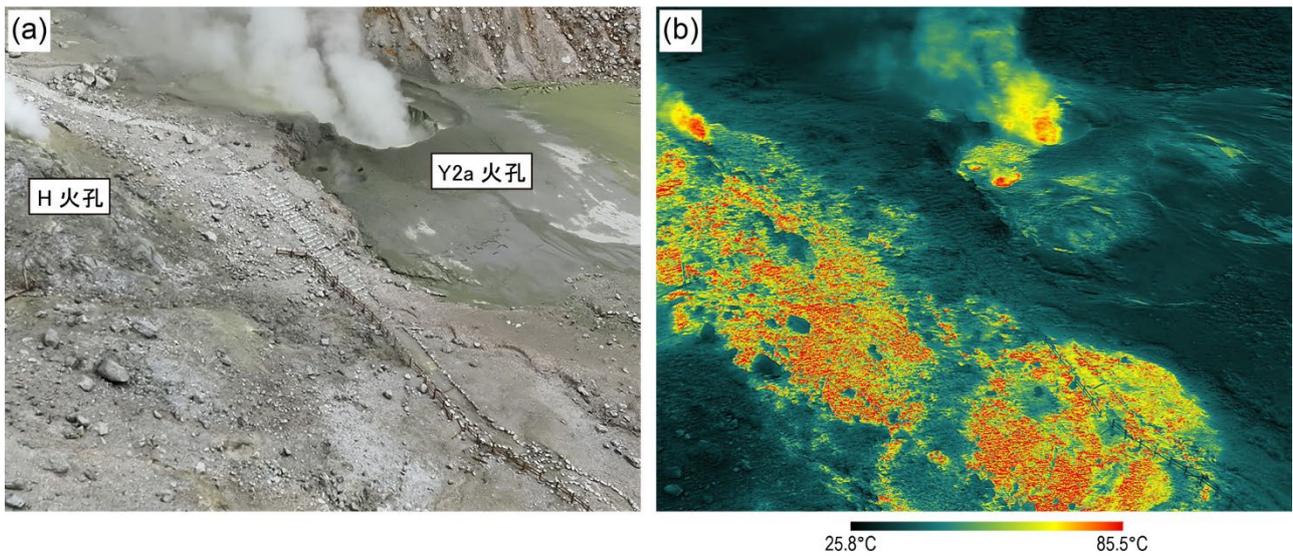


図 2. 西北西方向からみた Y2a 火孔、H 火孔周辺の斜め画像。(a)可視画像。(b)赤外画像。

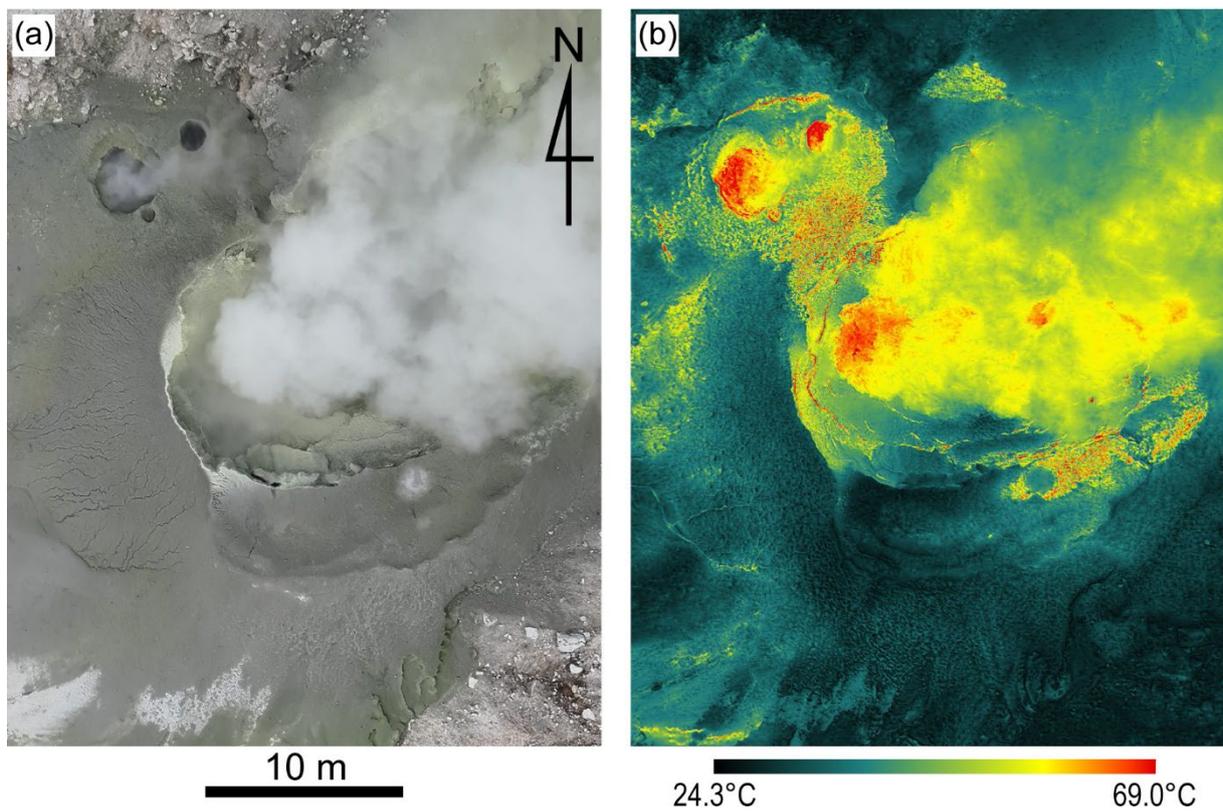


図 3. 2025 年 9 月 14 日に撮像した Y2a 火孔周辺の(a)可視画像と(b)赤外画像。